

# sumai

Kindai Home Group

Vol.4

June 2011



# 大空間で、仕事も くつろぎも両立できる家

〈葉山町・F様 2006年竣工〉



「家を建てるご計画をもたれたきっかけは？ 以前の家の悩みなどありましたら教えてください。」

天井の瓦が落ちて雨漏りがしたり、強風で家が揺れて崩れそうになっていました。本は無制限に増えてゆき、床も抜けそうで。夏の暑さは言うまでもなくとても不快で、冬は寒くて各部屋の温度差が激しいため布団は何枚も重ね電気毛布が必要でした。間取りは動作線も含めて効率が悪く台所は狭い。家の老朽化が顕著で家自体が限界を迎えていると感じました。

「施工会社を選択する際のポイントは何でしたか？」

居住空間としての地下を造れる事と、断熱に対して知識・実績のあるところ。そして仕事に手を抜かない会社であること。各部屋の温度差が少なく、土台・天井・水回りなどをしっかり建ててくれる会社を探していました。

「近代ホームに決めた理由は何でしたか？」

建物の構造がしっかりしていて地下を造れるメーカーであった事。近代ホームの本を読んだ時に、猛烈会社のスバルタ教育を強いているように最初は敬遠していましたが実際会社を訪ねて地下を見せていただいたのでこの会社を決めようと思いました。

「どんな家が建てたいか具体的な希望はありましたか？」

大量の本を置けるスペースを確保したいのと柱のない広めのリビング。あとは広い階段、可能ならば螺旋階段が欲しかった。ワーキングルームとリビングが接していますが必要に応じて分離できることや、空間は広くても断熱気密のしっかりした家を希望していました。

「家づくりで苦労した事、また楽しかった事を教えてください。」

近所に家を借りることができたので毎晩現場を見に行っていました。土掘りやコンクリートの基礎から始まり毎日が一喜一憂で、形になっていくにつれ喜びが増していきました。希望はいろいろ膨らみますが、結局は費用との兼ね合いで断念したこともありました。

「建築中の近代ホーム社員の対応、大工・職人の仕事はいかがでしたか？」

現場での突然の要望にもいやな顔もせず応じてくれました。建築後のアフターケアが極めて良かったのも大事なことです。大工・職人さんは礼儀正しく、とても対応が良かったです。気になる点があると説明してくれて安心できましたし、ご近所の評判も良かったです。



—近代ホームでの家づくりを経験して何が一番良かったと思いますか？

しっかりした土台と強い柱・梁、そしてレンガですね。内断熱に外断熱も加わって、希望通りの断熱性能でした。—間取りやデザインなどでこだわった点、気に入っている点などありますか？

費用を抑えるために規格品を多用したので、デザインは画一的で古臭く感じました。本当はもっと手づくり感のあるものが欲しかったんです。基本設計ができた後で外壁をレンガに変更することが可能かもしれないとのこと、一気に進めました。その後の近代ホームのデザインを見ると、レンガが重厚な雰囲気を出し、一新したように見えます。

—以前までの家と比べて、近代ホームの家の住み心地はどう変わりましたか？

寒さが大きく改善して、冬でも薄着で活動的になりました。明らかに心地よく過ごせます。

—盛夏時、また厳冬時の電気代はどのくらいでしたでしょうか？また、省エネ性を感じましたか？

—前の家はとても寒く光熱費は高額でしたが、この家は断熱性が優れているため、この冬床暖房を一日中つけている日は3、4日程度。光熱費が減っていることは間違いありません。夏は少し暑く感じられるので冷房は以前ほどでなくても必要ですね。地下の湿気は夏季に多くなるので除湿器3台をフル稼働します。あとはオール電化にしたため、地震・停電の時は困りました。太陽光発電をうまく利用できることが残念です。

—もっとこうすればよかったと思う点がありますか？

—地下にもう一部屋欲しかったのと、地下書庫にやはり窓をつけるべきでした。音が下の階に響くのは生活上かなり問題なので音の遮断が今後の課題ですね。そして、こだわった床のタイルが未だに不安定で浮きます。階段ももっと広く、少し螺旋形にしたかったです。規格品で費用を抑えることは理解できますが、もっと手づくり感のある違った間取りや設計もあつたかなと思う時があります。

—これから家を建てる方へのアドバイスをお願いします。結局費用の問題が主になるので、後で追加が困難なのは優先順位を替えて、無理してでも造っていただいた方がいいと思います。

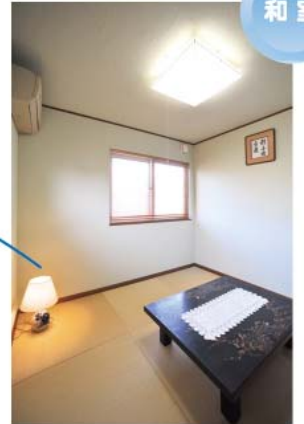
# F様邸 の間取り

2F  
ホール

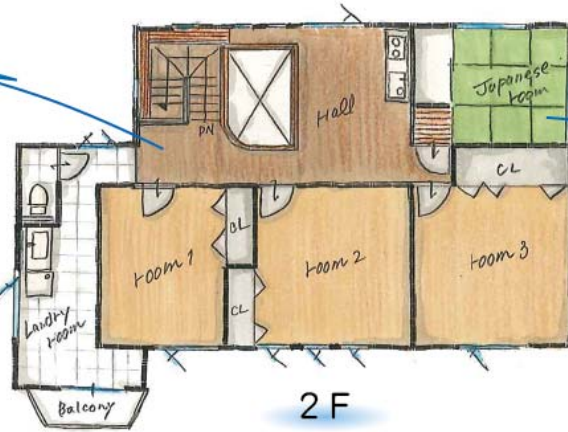


玄関から通じる2Fホールは、くり棒手すりで空間の一体感を演出。

和室



ちょっとした息抜きに和室を利用。



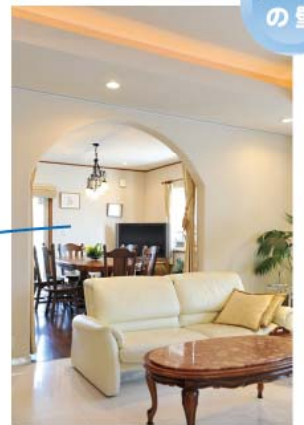
2F

飾棚



エントランスから階段へのアプローチにちょっとした飾棚を。

アールの壁

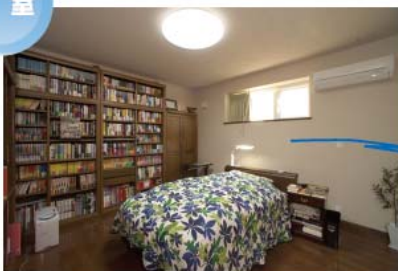


リビングからダイニングへの導線はアールの壁がやわらかさを醸し出します。



1F

寝室

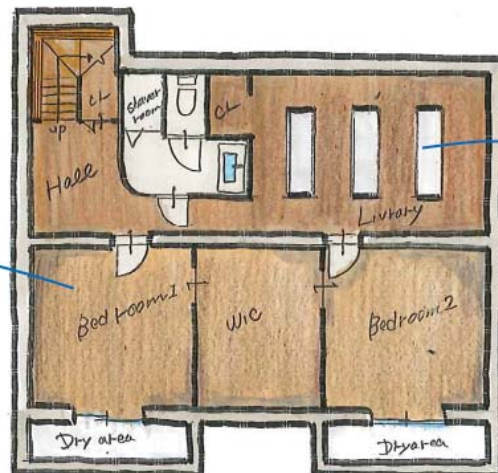


地下に寝室を配置。落ち着いた中でお休み頂けます。

書庫



たくさんの本を収納できる地下書庫。



BF

この家を  
建てたのは

# 松本典朗 元棟梁



大工棟梁を経て  
現在は、近代ホーム株  
代表取締役社長

## 当時の 思い出

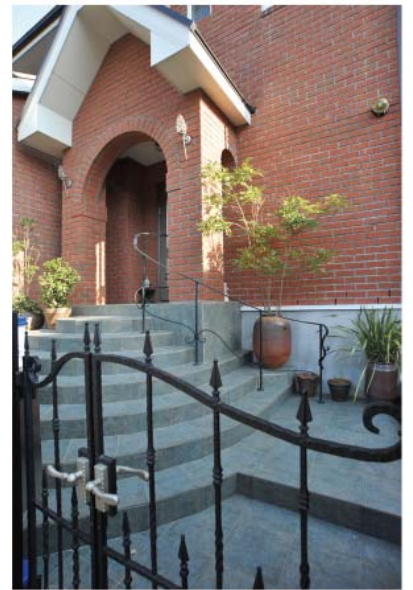
F様邸は、私自身大工の棟梁として一番チャレンジできた現場です。当時はまだ始めたばかりのレンガ積みをし、地下室や丸い壁なども造りました。作業は通常の現場の倍以上の規模で、大工も常時3人~5人ほど入っていましたので指示するだけでも一仕事でした。大工は『全ての業者さんの仕事に対して目を光らせなくてはいけないプレイングマネージャー』として仕事もしつつ打ち合せもして、様々な要素を自分の頭でまとめて一つの家にしていきます。F様邸ではどの現場より苦勞した分、喜びも何倍のものとなりました。工事中に打ち合わせをして変更した階段や吹き抜けも当初の予定より素晴らしいものができ、家づくりはお客様と共に造り上げるのだという事がその仕上がりから実感することができました。そこは今では私も一番のお気に入りの場所です。F様邸は私の自慢の1棟となりました。



外観と同じ素材のオーストラリアレンガを使った外構。駐車場の床も同素材のレンガを敷き詰めて統一感と重厚感を演出。間口の広い建物とのバランスをセキュリティーを兼ねたアーケードで演出。



玄関から2Fまで続く吹き抜けは、2Fホールへのつながりと開放感を感じさせる。



アイアンの門と手すりを配置し、お客様を迎える玄関にも統一感を。緩やかにカーブした階段が優しい雰囲気を醸し出しています。

## DATA

所在地／神奈川県三浦郡葉山町  
家族構成／ご夫婦、お子様(3人)  
竣工／2006年8月

延床面積／320.99㎡  
1階床面積／128.87㎡  
2階床面積／101.87㎡  
地下床面積／90.25㎡



引渡し時の記念写真。現場に携わった職人さんや大工さんが完成を祝います。